

宮崎県地域公共交通計画（素案）に対する意見募集の結果について

番号	該当ページ	該当箇所・項目	御意見の要旨	考え方
1	38	第4章 目標達成のための施策・事業 （取組1-2） デジタル技術を活用した利便性向上	観光客の利用を増やすためには、どのバスに乗れば、どの観光地に行けるのか、わかるようにする工夫が必要。	MaaSアプリについては、観光地等の情報発信に加え、ルートや利用可能な公共交通機関の検索が可能であり、県内の観光地に行くために、どのバスに乗ればよいかわかるものとなっております。 今後、九州MaaSの推進にあわせ、九州各県等と連携し、県内外へ広くアプリをPRしてまいります。
2	45	第4章 目標達成のための施策・事業 （取組3-2） 大型二種免許の取得支援等による運転士確保	どのような取組をやっても、運転士がいなければ、廃止になるだけなので、運転士の給料をあげるなど、待遇改善を進めるべき。	運転士確保を推進する上で、待遇改善は非常に重要であることから、先ずは、適切な運賃設定や、利用促進による収益の確保などにより、事業者において実施いただくとともに、県においても運行支援や二種免許等の取得支援等を通じて、待遇改善を促してまいります。
3	—	—	バスがなくなると買い物にも病院にも行けない。利用者が少なくても、大きな赤字であっても何とか残してほしい。	バスを将来にわたり持続可能なものとするためには、利用者数の増加や収支の改善、運転士の確保が不可欠であります。 そのため、本計画では、それぞれ目標を定め、関係者間が連携して、各種施策・事業を推進していくこととしており、これらの取組を通じて、バス路線の維持を図ってまいります。
4	—	—	最近、高齢者の交通事故が増えているが、自分の両親も高齢になり、とても不安を感じている。免許を返納しても生活に困らないような環境を作っていただきたい。	高齢化が進む中、運転免許を返納しても安心して移動ができる環境を整備していくことは非常に重要と考えております。 そのため、本計画では「高齢化の進展等に対応した移動環境の整備」を課題の1つととらえ、シニアバスなど的高齢者向け企画乗車券の造成やノンステップバスの導入に取り組むこととしており、これらの取組を通じて、高齢者が移動しやすい環境を整備してまいります。
5	—	—	路線バスの便数を増やしてほしい。	バスの利便性向上を図り、利用を促進するためには便数の増加など、需要に応じた運行が重要と考えておりますが、その一方で、近年全国的に運転士不足が大きな課題となっております。 そのため、本計画ではA I デマンド化といった予約に応じた運行への転換や運転士確保を推進していくこととしており、これらの取組を通じて、増便をはじめとする路線の充実に取り組んでまいります。